

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 278 号	氏名	穂積 晃
学位審査委員	主 査	高村 昇	
	副 査	江口勝美	
	副 査	田口 尚	
論文審査の結果の要旨 1. 研究目的の評価 本研究は、ヒト成熟骨髄脂肪細胞由来の NF-κB ligand (RANKL)、osteoprotegerin (OPG)、macrophage colony stimulating factor (M-CSF)の遺伝子発現と、前破骨細胞と脂肪細胞の共培養系により脂肪細胞の破骨細胞分化に与える影響について、分子生物学的および組織学的に検討を行ったものであり目的は十分に妥当である。 2. 研究手法に関する評価 10 検体からのヒト骨髄脂肪細胞を分離し、RANKL、OPG、M-CSF の遺伝子発現、さらにデキサメサゾン(DEX)がそれらの発現に与える影響についてについて分子生物学的に解析している。さらに DEX 存在下、および非存在下における前破骨細胞と骨髄脂肪細胞の共培養を行い、破骨細胞の分化について組織学的に検討を行っており、研究手法も妥当である。 3. 解析・考察の評価 骨髄脂肪細胞からの RANKL、OPG、M-CSF の発現が確認され、DEX 添加により RANKL-OPG 比(RANKL/OPG)の有意な発現増強が認められた。また骨髄脂肪細胞と前破骨細胞の共培養により前破骨細胞が分化する結果が得られ、DEX がその分化をさらに促進することが示された。このように、本研究は骨髄脂肪細胞の骨代謝への関与を明らかにし、ステロイド性骨粗鬆症の病態生理の解明に貢献する意義深い研究である。 以上のように本研究は、ステロイド性骨粗鬆症の病態生理の解明に大きく貢献するものと考えられ審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した			